2019 年度事業 進捗報告書（資金分配団体）

● 提出日　：　2022 年 5 月 31 日
● 事業名　：　地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業　～　インパクトが持続的に創出されるエコシステム形成
● 資金分配団体　：　一般財団法人社会変革推進財団
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　□有　☑無

1　実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
助成金の提供	マイルストーン達成に基づく助成金提供回数	6回（1実行団体ごとに1回ずつ）	2022 年 3 月	4 回	2
助成金の提供	提供助成金額	170,000,000 円	2022 年 3 月	**評価関連経費含まず** =179,008,251 円 **評価関連経費含む** =187,410,907 円	2

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
社会的インパクト評価を含む包括的支援プログラムの提供	実行団体と PO との打ち合わせ回数	合計 300 回 ・ 御祓川：約 50 回（PJ 期間中、月 2 回程度）	2022 年 3 月	合計約 237 回 ・ 御祓川：約 45 回 ・ シェアビレッジ：	2

		・シェアビレッジ：約 50 回（PJ 期間中、月 2 回程度） ・Rennovater：約 50 回（PJ 期間中、月 2 回程度） ・Sonraku：約 50 回（PJ 期間中、月 4 回程度） ・Ridilover：約 50 回（PJ 期間中、月 2 回程度） ・ポケットマルシェ：約 50 回（PJ 期間中、月 2 回程度）		40 回 ・Rennovater：約 43 回 ・Sonraku：約 40 回 ・Ridilover：約 40 回 ・ポケットマルシェ：41 回	
社会的インパクト評価を含む包括的支援プログラムの提供	実行団体間の情報交換等の機会の提供回数	4 回	2022 年 3 月	3 回	2
社会的インパクト評価を含む包括的支援プログラムの提供	インパクトレポート作成による社会的インパクト評価の広報支援回数	2 回	2022 年 3 月	1 回	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値
5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

新型コロナ感染症の拡大による影響は、一部の実行団体の活動に現れている。例えば、株式会社 Ridilover は活動の柱の一つである新潟県越後妻有地域における大地の芸術祭は、新型コロナの影響により 2021 年の開催延期が決定した。そのなかでも社会的インパクトの持続的な創出のために、同社が主体となって新しい方向性を模索し、2022 年には「体験格差の解消」を目的としたツアーを通じ、新しい社会課題を個人寄付からファンディングする仕組みの検証を実施する方向性に至り、5 月に第 1 回目のトライアル事業を実施した。 本事業における資金分配団体としての弊財団の目指すアウトカムのひとつは「実行団体及びその支援先が、ソーシャルビジネスとしての社会性・経済性の両立の仮説が検証されており、継続的に事業として成り立つようになっている/成り立つ道筋が見えている」ということである。社会的インパクトと経済性が両立する事業の構築という難度の高いこのアウトカムを達成するためには、新型コロナに直面した Ridilover のような、当初予想していなかった事象に直面した実行団体が、新しい方向性を見出すための支援を行うことであり、実行団体の主体性を尊重しつつ、仮説検証のサイクルスピードの向上のために、高頻度な、忌憚ない意見交換を重ねている。
6. 実行団体の進捗に関する報告
非資金的支援のアウトプットは、順調に進捗している。 一方で資金的支援のアウトプットである助成金の提供については、実行団体から助成金申請を受領してのち、迅速に資金提供している。なお、目標値に対して資金の提供額に若干の遅れがみられるが、実行団体から要請される資金の積み上げに遅れがあるため。最終年度には、きちんと資金が消化されるようきめ細かい伴走支援を実施しているところである。

③広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） 2021 年 9 月～2022 年 3 月実績

-一般財団法人社会変革推進財団

2022/03/25　金融財政事業｜3 年目に突入した「休眠預金」活用の成果と今後への提言（寄稿）

2022/01/24　Hedge Guide｜休眠預金制度に関する国内初の「社会的インパクト評価レポート」発行

-Rennovater 株式会社

2021/11/10　京都新聞｜京信、ベンチャーなど 3 社に投資

2022/01/04　朝日新聞｜安住の場づくり　困った人に

2022/02/01　産経新聞｜困窮者にやすい家賃で部屋

2022/02/07　日本経済新聞｜産官学の奮闘：インパクトを可視化せよ
2022/02/09　KBS 京都｜笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ

-シェアビレッジ株式会社
2022/01/13　秋田魁新報｜「湯の越」の温泉、復活へ

-株式会社御祓川
2021/12/23　石川テレビ｜『「ウィズコロナに合わせたサービスを」能登半島の最先端にある人気宿泊施設 20 代女性社長が誕生』
2021/12/24　テレビ金沢｜ Ｕターン２０代女性が社長に就任　後継者不足課題の奥能登　若い力頼りに

-雨風太陽
2022/03/20　TBS ラジオ｜地方創生プログラム ONE-J
2022/03/02　北海道新聞｜農産物ネット販売急伸　生産者・消費者双方に恩恵　ファン増へ　栽培過程共有も
2022/02/22　日刊水産経済新聞｜ポケットマルシェ、地域に消費者呼び込みたい
2022/02/22　岩手日報｜盛岡で農業・食産業関係人口創出セミナー
2022/02/13　岩手日日新聞｜農・食産業通じ関係人口創出へ
2022/01/09　読売新聞｜［遠くて近くて］(7)　対馬の魚　SNS 直販　一本釣り漁師　海を身近に
2021/10/28　毎日新聞｜「孤独死多発」 ポケットマルシェ・高橋さんが恐れる農漁村の実情
2021/10/02　東洋経済オンライン｜日本航空とポケマルが協業「青空留学」の正体　生産者、航空業界、学生の三者が協力しあう

2.広報制作物等

●レポート作成
SIIF 休眠預金事業 インパクトレポート

●イベント実施

「2019/2020 年度休眠預金事業およびオルタナティブ事業 支援先合同セッション」

●ブログ配信

-2022 年 1 月 25 日

休眠預金事業で国内初のインパクトレポートを発行。その中身をご紹介します

-2022 年 2 月 28 日

2019・2020 年度休眠預金事業およびオルタナティブ事業 支援先合同セッション（前編）現場同士のつながりで新たな気づきを

-2022 年 3 月 4 日

2019・2020 年度休眠預金事業およびオルタナティブ事業支援先合同セッション（後編）このつながりを大きなうねりに

3.報告書等

SIIF 休眠預金事業 インパクトレポート

④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　□一部未公開　□未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　□いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：□内部に窓口を設置　　□外部に窓口を設置　　□ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　□外部監査を実施　　□実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）